

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010長第5号	
事故等種類	衝突（棧橋）	
発生日時	平成21年12月19日（土） 10時13分ごろ	
発生場所	長崎県五島市 奈留島港浦防波堤灯台から真方位024° 860m付近 （概位 北緯32° 49.392′ 東経128° 56.275′）	
事故等調査の経過	平成22年1月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>旅客船 ニューたいよう、102トン 136405、五島旅客船株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構</p>	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船首外板及びスラスタ室空所フレームに損傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、乗客12人及び貨物6個を乗せ、奈留島港内の棧橋に着棧作業中、平成21年12月19日10時13分ごろ、左舷船首部が棧橋に衝突した。</p> <p>本船は、着棧後、乗客に異状のないことを確認して下船させ、その後、損傷箇所の確認を行ったところ、上記の損傷が発見された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北北西、風力 3</p> <p>海象：潮汐 高潮時</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、奈留島港内の棧橋に着棧作業中、風向を考慮した着棧方法をとらなかったため、棧橋に圧流されたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が奈留島港内の棧橋に着棧作業中、風向を考慮した着棧方法をとらなかったため、圧流されて棧橋に衝突したことにより発生したものと考えられる。	